

木浦



風の子 元気な子

糸魚川市立木浦小学校

学校だより No.5

令和元年6月25日発行

木浦小学校のキャリア教育



1 夢を叶えた先輩に聞く -5・6年修学旅行-

5・6年生は、6月20日から1泊2日で東京に修学旅行に行ってきました。国会議事堂見学、食肉市場・芝浦と場見学の後、木浦小学校出身の方が料理長を務めるフランス料理店を訪ねました。

お店は、高級フランス料理店です。子どもたちは、まるで別世界のような店で、夢を叶えた先輩のお話をうかがいました。

シェフの実家は漁業を営んでいて、中学生の時、魚料理を作って褒められたのがきっかけで料理の道を志すようになったそうです。フランスの一流レストランで約10年間修業を重ね、帰国後はこの店の料理長として腕を振るっています。人々から認められる料理人となったことで夢を叶えましたが、今はお客さんが幸せになり、20人の従業員が気持ちよく働けるように努力を重ねています。

シェフから直接お話をうかがい、子どもたちには目標に向かって努力することのすばらしさを再認識し、これからの自分の生き方を考えることができた貴重な体験になりました。



2 地域でがんばる人から学ぶ

木浦小学校では、キャリア教育^(*)を重視し、地域学習を各教科等と横断的に結び付け、各学年に応じた実践を進めています。^(*)一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育)

6月11日(火)には、3～6年生が「長者温泉ゆとり館」を訪ね、経営される御夫妻の生き方についてうかがいました。

子どもたちはこの地域の人口が減少していることも知っています。一方で、この地域のよさに惚れ込み、守り引き継いでいこうと決心し、移住されてきた御夫妻の思いも知りました。子どもたちは、ここでの体験を通して、この地域が全国に誇れるすばらしい場所であることを学びました。

3 地域のために -学びの還元-

6月24日(月)、全校16人が鬼伏海岸で「ふるさとクリーン活動」をしました。

木浦小学校では、1・2年の生活科や3～6年の総合的な学習の時間で、地域の「人・もの・こと」と深く関わり、地域の人から木浦のすばらしさを学ぶ地域学習にも力を入れています。これは、話を聞いたり、体験したり、時にはおいしい物をいただいたりするだけで終わらせたくはありません。小さな小学生の力ですが、地域のために役立てたり、学習の成果を地域に還元したりすることこそ、ゴールだと考えます。

今回のクリーン活動は、わずかな時間ではありましたが、地域に役立つ活動を通して、子どもたちの心に大切なふるさとを守っていこうとする気持ちが育まれたと思います。



以上のように、木浦小学校では、地域学習を核にキャリア教育を推進することによって、子どもたちの生きる力を育てています。そのためには、地域の皆様のお力が是非とも必要です。これは子どもに教えるということではありません。できるときに、できる範囲で子どもたちと共に活動を楽しんでいただだけでもよいのです。子どもたちがこの地域の「人・もの・こと」のすばらしさを存分に味わい、そこで学んだ成果をもとに、何か本気になって地域へお返しできるよう御支援ください。そして、子どもたちの力が地域のために貢献できたことが実感できたときこそ、地域学習が実を結ぶと考えます。

木浦小学校では、いつでも地域の皆様のおいでをお待ちしています。